

事務事業名		市道霞町野竹線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G	課長名	松村 直樹	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	景山 泰彦	電話番号	0854-40-1063	
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。				
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:1:4:0:0:3	大事業名	市道道路整備事業	
目的対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。				中事業名	起債道路整備事業
					会計	0:1:5:0:3	大事業名	市道道路整備事業
					科目	1:0:1:5:0:3	中事業名	起債道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度～ R7 年度)	本路線は掛合町多根地区にあり国道54号の多根トンネル広島方面側出口から、三刀屋川の潜水橋を渡り多根交流センター付近へ通ずる路線である。増水時には潜水橋が通行不可となることから、本事業により行き止まりを解消する。 延長 L=200m 幅員 W=5.0m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・道路改良工事 ・用地測量調査業務 ・用地取得	設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【地方債】合併特例債 (工事費) 9,282千円 (委託料) 4,890千円 (用地費) 27千円 (事務費) 199千円 (合計) 14,398千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円		23,200	13,600	17,800	
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,700	11,014	798	1,010	
事業費計		千円	2,700	34,214	14,398	18,810		

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	計画区間の工事が順調に完了し、事業が進捗している。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。